

Lachesis ブッシュマスター(南米の毒蛇) [嫉妬, 多弁]

Lachesis muta L. (Crotalus mutus L.)

BACK GROUND

Lachesisは、アメリカ大陸最大の毒蛇で、クサリヘビ科マムシ属ブッシュマスターの毒からつくられます(世界4大毒蛇は、東南アジア産のキングコブラ、南米産のブッシュマスター、アフリカ産のブラックマンバ、オーストラリア産のタイパンです)。



(S)

このヘビは、海拔1,800m以上で、年間降雨量が2,000mm以上の、湿度の高い熱帯林に生息しています。一部のやや降雨量が少ない地域(ニカラグアやコロンビアの一部)にも生息していますが、そこでは川べりに棲みかがあります。南米でブッシュマスターの生息域は4か所存在し、それぞれ亜種に分類されています(Lachesis muta muta, Lachesis muta stenophrys, Lachesis muta rhombeata, Lachesis muta melanocephala)。

Lachesisは学名で調べると、Lachesis mutaとCrotalus mutusの2つの名前が併記されていることがあります。これは、1766年にリンネがCrotalus mutusと命名した約40年後に、フランスの爬虫類学者がLachesisに改名したためです。

ブッシュマスターは、とくに川の近くの林床の落葉の上にじっとしています。そして、日没後から夜間に活動します。待ち伏せタイプの狩りを行い、獲物が来ると、サッと飛びかかって毒を注入して、すぐに放してしまいます。齧歯動物を常食としています。獲物はすぐに死ぬので、獲物の臭いを追跡してゆっくりと移動し死んでいることを確認してから飲み込みます。このヘビは、アメリカ大陸のマムシ類の中で、唯一卵を産むヘビです。また他のヘビと違い、首を絞めてもたないと咬まれると言われています。

南米先住民の間では、Surucucuと呼ばれています。これは、このヘビが出す音に由来します。マムシ属の中では、とくに獲物に対して攻撃的で、ガラガラ音も

出し、全長3mになります。コスタリカでは、Matabuey雄牛殺しと呼ばれています。

ブッシュマスターの毒は、量が多いために毒性が非常に強く、抗血清での治療も役に立ちません。この毒は、赤血球を破壊し、血液を止まりにくくしますので、浅く咬まれても大量に出血します。咬まれたときに毒が静脈に入ると、心臓の神経に作用して即死します。

ただし、このヘビは、元来自分の獲物以外の対象に対してはおとなしく、また原生林の奥に生息していて、原生林を切り開かない限り人里近くに来ることがまったくないこと、そして、完全夜行性なので、人を咬むことはめったにありません。1900年代前半に南米で行われたヘビの咬傷調査6,601件のうちで、ブッシュマスターによるものはたったの16件でした。また、ブラジルの病院でのヘビの咬傷調査では、1,718件中ブッシュマスターによるものは、1件もありませんでした。ところが、このヘビの大きさや毒の量、生態が知られていないことから、人々に恐れられてきました。ブッシュマスターは、捕獲後に飼育困難なことで有名です。捕獲すると一切捕食を拒否してしまい、衰弱します。

MATERIAL

ブッシュマスターの毒液

FIRST PROVING

このレメディは、Heringによって紹介されました。Heringは1837年、ドイツ政府による南米動植物調査の際に、この毒蛇を捕まえるように現住民に要請しました。そして、捕獲に成功し、竹の籠に入れたブッシュマスターをHeringに渡すと原住民は逃げてしまいました。Heringは、手に入れたヘビの毒がかり、不注意にもブルーピングしてしまいました。彼は精神錯乱と狂気状態になり、同行していた彼の妻は驚愕してしまっただけです。彼は目が覚めるとまったくその記憶がなかったのですが、妻が鮮明に覚えていました。これが最初のブルーピングとなり、克明に記録されました。翌日に戻って来た原住民たちは、彼らが生きているので、驚いたといひます。その後のブルーピングは30cで行われました。

Lachesis mutaによる毒には、多くの酵素活性のある蛋白質や、より低分子量のある種のポリペプチドなどが含まれていて、それらが複合して複雑な働きをし

ています。毒の構成成分の多くは、受傷者の体内で多数の生理学的受容体部位に結合して作用します。主な成分には、壊死毒であるホスホリパーゼA₂、血管作用性アミン、ブラジキニン、アセチルコリン、各種蛋白質分解酵素、トロニン様の活性をもつクロターゼなどがあります。



(S)

MIND

Lachesis タイプの人は、ブッシュマスターに似ています。動物的本能が強く、警戒心も強く、知覚が鋭くて、自己中心的です。獲物となる相手に対して大変疑い深く、嫉妬深く、復讐心が強いのも特徴です。愛する人に対してとても意地悪です。よくいやみを言います。ヘビの舌が常に動いているように、非常におしゃべりです。想像力が豊かで、次から次へと妄想が膨らみます。

また、ヘビは首を捕まれて絞められるのが嫌いなように、首もとが締まった洋服は絶対に着ません。いつも胸元を開けています。喉もとを他人に触れられることも、我慢ができません。肉欲は強いです。体の不調が左側から始まる傾向があります。

好きな食べ物は、酸っぱい物、デンプン質の米やパン、お酒、牡蠣などです。ただし、飲酒で悪化します。ヘビは大嫌いです。狭い所に閉じ込められるのも嫌います。

Lachesis タイプの子供は、非常に強い感情をもっていて、両親でもコントロールしにくい性格をしています。新しく生まれた弟や妹に対しては、非常に強い嫉妬心を抱きます。

AFFINITY

Lachesis は、主に神経系（とくに皮神経、血管運動

神経、迷走神経、交感神経）、血液、心臓血管系、女性生殖器系、頭頂部などに親和性があります。

Lachesis は、血液、血液循環、心臓、神経、女性生殖器に強く作用します。心臓が弱く、頻脈や不整脈、動悸などや女性の更年期や月経前症候群、嫉妬にもよく使用します。一般的に、女性によく使うレメディです。

CLINICAL APPLICATIONS

■感染症

- ・急性感染症、急性化膿性疾患：抗生物質療法が奏効しないときや、効果を高めるために使用できます。患部は感覚過敏になっていて、ズキズキする痛みがあります。炎症を起こしている部位は、紫色か青紫色になっていることがあります。突然化膿性の分泌物が出る場合があります（とくに副鼻腔炎や耳炎）。

■出血により改善する疾患：Lachesis は、出血や体液の漏出で症状が改善する傾向があります。

- ・頭痛：鼻血により改善します。
- ・痔：出血により楽になります。
- ・月経困難症：生理中の出血で楽になります。

■喉

- ・喉の痛み：とくに左側ですが、ときに痛みが左から右に移ります。飲物や唾液を飲み込むと痛みは悪化し、喉から耳にかけて痛みが広がります。とくに熱い飲物を飲むと悪化します。喉もとを締めつけられる服を着ることができません。喉に固まりがある感覚をもっています。

■消化器系

- ・大腸炎：下痢を排出してしまうと楽になります。
- ・胃痛：しつこい痛みがあり、食事をすると少し楽になります。
- ・肝炎、黄疸：肝臓の周辺も過敏になり、腹部のきつい服も着られません。
- ・痔：暗赤色になっています。ズキズキした痛みや締めつけられるような痛みがあります。

■泌尿生殖器系

- ・腎臓結石
- ・腎炎：黒い、または暗色の尿が出ます。
- ・更年期障害：生理の血が黒っぽくなります。顔面の紅潮や動悸、失神、高血圧、斑状出血、頭痛、情緒不安定などの症状が出ます。ふだん異常におしゃべりですが、急に落ち込んだり、ため息をついたり、嫉妬心や疑い深い性格が強くなったり、不眠症になります。動悸は、左下に寝たり、夜や睡眠で悪化します（もともと Lachesis タイプは左下に寝ません）。
- ・月経前症候群：イライラして、嫉妬、うつ状態や情

緒不安定、頭痛、顔の紅潮などが顕著です。

- ・ 卵巣腫瘍、卵巣嚢胞：とくに左側
- ・ 性欲異常亢進、ニンフォマニア
- ・ 過度の自慰

■心呼吸器系

- ・ 喘息：とくに強い感情の激化や嫉妬の後に起こります。夜や睡眠中、早朝の散歩、暑い部屋などで悪化します。外気や涼しい場所で、前かがみに座ると楽になります。
- ・ 睡眠時無呼吸症候群：夜中、とくに寝入りばなに窒息感が襲い、目が覚めてしまうことがあります。
- ・ 花粉症
- ・ 動悸：夜、寝るときに起こります。左下に寝ると悪化するので、右下に寝ます。
- ・ 高血圧症
- ・ 心筋梗塞：胸の絞扼感があり、左側の腕まで痛みが広がります。
- ・ うっ血性心不全

■精神神経系

- ・ 嫉妬：とくに配偶者の浮気による激しい嫉妬や、子供に新しい弟妹が生まれたときの嫉妬心など
- ・ 強い復讐心：Lachesisの妻をもつ夫は大変です。
- ・ 頭痛、片頭痛：ズキズキしたり、頭が割れるように痛むことがあります。頭痛は暑さや生理前、妊娠中、飲酒、更年期に悪化し、圧迫したり、生理中や鼻血などで楽になります。
- ・ 中耳炎：左側。痛みがひどく、夜に悪化します。
- ・ 昏睡、せん妄状態：日射病やアルコール飲料、高熱などによるもの
- ・ 痙攣発作、子癇、麻痺、頭部の外傷に起因する症状

■その他

- ・ 日射病
- ・ アルコール依存症
- ・ 皮膚黒色腫
- ・ 軸索瘤：とくに肢
- ・ 坐骨神経痛：妊娠中に起こります。
- ・ 出血性紫斑病
- ・ 網膜出血
- ・ 皮下出血：打撲傷で容易に青紫色になる傾向があります。
- ・ 歯痛：痛みが耳まで広がります。
- ・ 狂犬病予防接種後の不調

MODALITY

▷ 分泌物の排泄（どんなものでも、月経の血、鼻血など）、冷たい飲物、新鮮な空気、患部の圧迫、食事、果物など

◀ 睡眠、触られたり絞めつけられること（とくに喉もと）、暑さや直射日光、熱い飲物、左側の症状、更年期、きつい洋服、朝、春、飲酒、眼を閉じることなど

RELATIONS

- ・ Antidote to : Arsenicum album, Mercurius
- ・ It Antidotes : Bufo, Crotalus horridus, Rhus toxicodendron
- ・ Complementary : Crotalus cascavella, Lycopodium, Hepar sulfur, Salamandra
- ・ Incompatible : Aceticum acidum, Ammonium carbonicum, Carbolicum acidum

Lacticum acidum 乳酸 $C_3H_6O_3$ [朝の悪阻]

Lactic acid- $C_3H_6O_3$

BACK GROUND

Lacticum acidumは、無色無臭の透明な粘性のある液体で、ヒドロキシ酸の一種である乳酸です。味は、酸味があります。化学式は $C_3H_6O_3$ 、示性式は $CH_3-CH(OH)-COOH$ で分子量90です。

乳酸は、牛乳中の乳糖から、乳酸菌の乳酸発酵によってつくられますが、人体でも運動中の低酸素状態では、筋肉などでこの物質がつくられています。

乳酸発酵によってできる乳酸は、乳酸菌の種類によって次の2種類があります。

- ・ l (+) 乳酸：ラクチス菌やクレモリス菌などの乳酸球菌、またカゼイ菌などの乳酸桿菌によってつくられます。免疫細胞の賦活や腸内細菌のコントロール、活性酸素除去への関与などの働きがあると言われています。
- ・ d (-) 乳酸：ブルガリア菌などの乳酸桿菌によって